

## 特別分科会 第1分散会 教育課題 I

### 【研究課題】 地域の特色や願いを生かす創意ある学校づくり

#### 【趣 旨】

国際化、情報化、科学技術の発展などによって、社会が大きく変化する時代あって、この知識基盤社会を主体的・創造的に生きていくためには、子どもたちに豊かな人間性や社会性などの「生きる力」を身に付けさせ、一人一人の自己実現を支援する教育を充実していくことが今強く求められている。

学校は、子どもたちの願いを実現するため家庭や地域社会の意向を十分反映する信頼される組織でなければならない。教育現場の意識改革により、教育を提供する側からの発想にとどまらず、教育を受ける側である子どもや保護者、さらにその教育を支える地域の側からの発想のもと、質の高い教育の場をつくりあげる必要がある。

そこで、学校運営協議会によるコミュニティ・スクールを推進し、家庭や地域社会が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することで、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させることが求められる。そのために、学校経営における学校運営協議会の役割や位置づけ、組織のあり方、教育委員会との関係等、検討すべき課題は多い。

さらに、学校・家庭・地域社会の三者が互いの役割を十分に認識する中で一体となり、よりよい教育の実現に取り組まなければならない。三者が連携していくためには、学校自らが情報を公開し、自らの評価とともに、家庭や地域社会の評価やニーズも取り入れ、学校経営に活かしていくことが大切である。

校長のリーダーシップのもと、地域の特色や願いを活かすことのできるコミュニティ・スクールへの取組みを明らかにする。

#### 【研究の視点】

##### 1 地域の特色や願いを生かすコミュニティ・スクールの推進

地域社会に開かれ信頼される学校を実現するためには、保護者や地域住民の願いを的確に反映させ、その教育力を生かし、地域課題と関連させた学校経営を推進していくことが必要である。そのためには、学校・保護者・地域住民が一体となり学校運営に参画するコミュニティ・スクールの推進が重要である。

コミュニティ・スクールの推進に際しては、運営の透明性を高め、保護者や地域住民に対して十分な説明責任を果たすことが求められている。

地域の特色や願いを生かす創意ある学校づくりとしてのコミュニティ・スクールの推進に果たす校長の役割や在り方を究明する。

##### 2 学校運営協議会によるコミュニティ・スクールの推進

コミュニティ・スクールは多くの可能性を持っている。地域住民の願いを学校運営に反映することによって地域課題の解決に向けての取組みを進めたり、地域の教育力を学校経営に活かすなど、幅広い学校運営の可能性をもたらすものである。

しかしながら、コミュニティ・スクールの核となる学校運営協議会の構成、学校・保護者・地域住民それぞれの役割や責任範囲、教育委員会との関係、運営規則や運営経費等、検討すべき課題は多く残されている。

学校運営協議会によるコミュニティ・スクールの推進における校長の役割や指導性を究明する。